

令和元年度 高千穂町立押方小学校 学校評価書

本年度の学校経営ビジョン 「「地域とともにある学校」を基盤とし、学校・家庭・地域社会が一体となり、「チーム押方」として協働し、小規模校の強みを最大限に生かし、児童一人一人の「やさしさ」「かしこさ」「たくましさ」を伸ばす教育活動を展開する。」
子どもの成長を実現し、信頼される学校をめざす「押方小ならではの教育」

(4段階評価 たいへんよい=4点 おおむねよい=3点 もう少し=2点 改善が必要=1点) 平均 2.5 点 ※(4+3+2+1)×4=2.5

重点指導事項	目指す児童像	方策・手立て	自己評価		結果の考察・分析及び改善策等	学校関係者評価コメント ◇…プラス面 ◆…マイナス面 ☆…思いや願い
			項目別	総合		
1 自他の生命を尊重し、相手を思いやる心と実践力の育成	① 「命」の尊厳を理解し、自他の生命を守る教育の充実	○自他の生命の大切さに気付く子ども	○命についての指導の充実	3.49	3.50	<p>●児童・保護者のアンケート結果から、子どもたちが自分の命や友達の命を大切にしている行動をとっていることが分かった。今後は、さらに「命」を大切にする道徳の時間の充実を努めたい。</p> <p>●「友達のようにとやがばんばっていること」を知っている児童が多く、日々教師が友達のよさやがんばりを認める称賛の場を取り入れている成果の表れだと考えられる。今後も継続して取り組んでいきたい。</p> <p>●朝ボラやお手伝いへ積極的に取り組む児童が多く、今後も、思いやり的心を育む指導や教育活動等を継続していきたい。</p>
	② 互いを認め、相手を思いやる言動の向上、及びいじめの根絶	○元気なあいさつができ、相手を思いやる言葉遣いや行動ができる子ども ○いじめをしない子ども	○互いを理解し、よさや頑張りを認め合う学級づくり ○アンケート、教育相談、フラワール委員会の実施 ○いじめや差別のない望ましい人間関係の醸成を図る常時指導の充実	3.57		
	③ 豊かな心を育む道徳教育、人権教育、ボランティア活動等の充実	○思いやり的心をもった子ども	○児童の実態や教育活動に合わせた学級活動や特別の教科道徳の充実 ○ボランティア活動の意義への理解 ○朝ボラ、みどボラ活動の継続	3.44		
2 主体的に学び合う力の向上と基礎学力の確実な定着	① 一人一人の児童の学力を伸ばし、確実に学習内容の定着を図る授業改善の充実	○主体的に学ぶ子ども ○基礎学力が身に付いた子ども	○「わかる、できる」の4つの視点を基にした授業の工夫 ○授業研究会をもとに授業改善	3.43	3.14	<p>●授業に取り組む児童の姿からも、学習に対して意欲的に取り組んでいることが分かる。今後は、確実に基礎学力が定着するよう授業改善等に努めていきたい。</p> <p>●アンケート結果から、家で読書に取り組む児童が少なかった。今後は、家庭教育も含めて改善策を検討し、保護者にも関心を高める手立てを工夫していかなければならない。</p> <p>●児童クラブを利用している児童も多く、そこで宿題等を済ませているようだ。保護者には、児童がし終えた宿題プリントや家庭学習ノートを家庭で見届けよう声かけていきたい。</p>
	② 図書館教育の充実と「家読」の推進	○読書に励む子ども	○図書通信や家読推進活動の取組による家読の啓発	2.79		
	③ 家庭学習の充実と習慣化	○家庭学習に取り組む子ども	○「8つの光」の資料配付、学級通信や参観日、個人面談等における家庭学習協力の呼びかけ	3.21		
3 体力と健康生活を実践する習慣・能力の向上	① 体力向上プランに基づく計画的・継続的な取組と体力づくり運動の充実	○体力を身に付けた子ども	○体力向上プランを基にした学級全体での取組 ○児童相互の交流を図る、みんな楽しく体力づくり	3.57	3.30	<p>◇1.3kmウォークでは児童の声が聞こえて、うれしいです。また、じいちゃん、ばあちゃんがいっしょに登校してくれて安心して見ていられます。</p> <p>◆スマホゲーム等、本当に心配ですね。保護者にさらに周知していただきたいと思います。</p> <p>◆他校との交流による各自の自覚と交流による確認ができるようにお願いしたい。</p>
	② 自己の健康生活に目を向け実践する能力の育成	○自分の健康に目を向け、実践する子ども	○よりよい生活習慣の定着を図る指導の工夫 ○学期1回のすこやか週間の取組の充実 ○「すこやかファイル」や保健だより発行、学校保健委員会等を通じた家庭との連携	3.14		
	③ 「1.3kmウォーク」運動の継続	○献宮神社からしっかりと歩いてくる子ども	○PTAと連携した「1.3kmウォーク」の呼びかけ及び推進	3.21		
4 特別支援教育の充実	① 児童一人一人のニーズに応じた全校的な教育支援体制を確立する。		○児童のニーズに応じた手立てを講じ、全職員による支援体制の整備	3.00	3.00	<p>◆小規模校だから可能な児童個々への支援と助言を期待します。 ☆先生方も大変ですが、ご支援よろしく申し上げます。</p>
	② 校内委員会を定期的に開催し、児童の実態把握や支援方針の検討を行うとともに、その内容を全職員で確実に共通理解し、組織的な対応を充実する。		○学期1回、校内委員会を開催し、全職員による共通理解や支援方針検討の協議	3.00		
	③ 教職員の特別支援教育に関する専門性や実践的指導力の向上につながる研修を充実する。		○適宜、特別支援教育に関する研修の開催	3.00		
5 家庭や地域とともに歩む信頼される学校づくり	① 地域とつながり、地域を誇りに思う教育活動の充実	○地域に関心をもち関わりをもちながら、「押方」のことが好きな子ども	○地域素材や人材を生かした教育活動への取組	3.54	3.39	<p>◇押方が好きという子が多いのは、先生方が押方を大事にしてくれているからではないでしょうか。今後も、児童のため、押方小のために頑張ってください。 ☆先生と家族、チームとしての押方小、地域一丸としての押方小学校、我が母校を応援します。頑張ってください。</p>
	② 家庭や地域への積極的な情報提供と、学校評価を有効活用した学校改善の推進		○学校通信、ホームページ、保健だより、学級通信等の充実 ○学校評価を活用した学校改善	3.00		
	③ 高い倫理観・使命感、協働精神をもち、積極的に心身の健康維持に取り組む職場づくり		○風通しのよい職場づくりとコンプライアンス意識の高揚 ○教職員評価の有効活用と現職教育の充実、所外講師の招聘や校外研修への積極的な参加等による資質能力の向上	3.25		